

## **II. 西東京市の現状と課題**



## Ⅱ. 西東京市の現状と課題

### 1. 西東京市の概況

#### ■立地

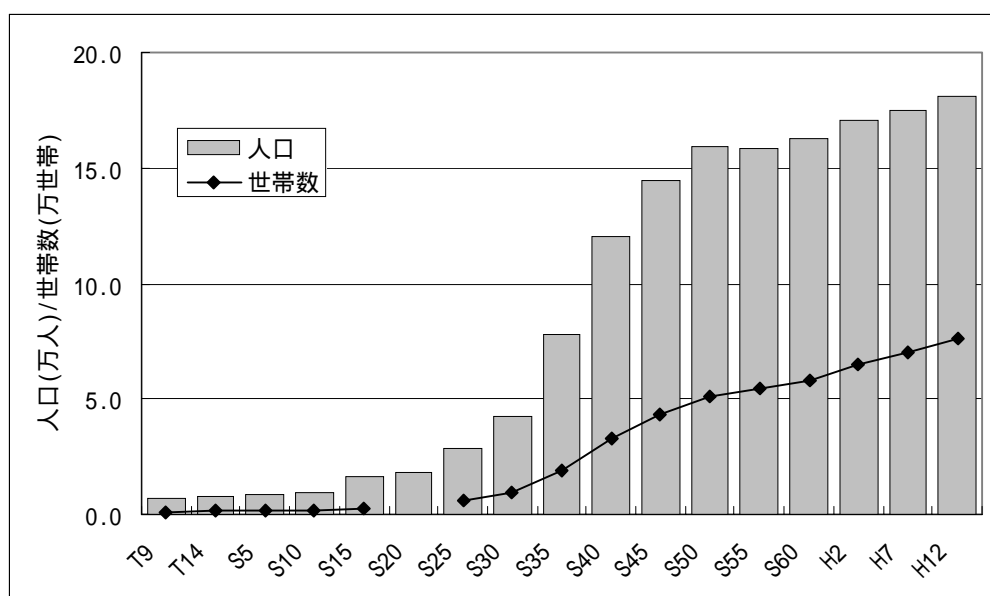
- ・西東京市は、東京都区部の西部地域に隣接し、武蔵野台地のほぼ中央にあります。都心から約 20km で、西武新宿線と西武池袋線で都心と結ばれ、市内には 5 つの駅があります。
- ・北は埼玉県新座市、南は武蔵野市、東は練馬区、西は小平市及び東久留米市に接しており、東西 4.8 km、南北 5.6 km、面積は 15.85km<sup>2</sup> です。

#### ■人口

##### <人口推移>

- ・西東京市の人口は、昭和 30 年（1955 年）頃から急速に増加しました。昭和 50 年（1975 年）頃から増加は比較的穏やかになり、国勢調査によると平成 12 年（2000 年）10 月 1 日における人口は、180,885 人（男 90,308 人、女 90,577 人）となっています。
- ・「西東京市人口推計調査報告書」（平成 14 年 3 月）によると、平成 32 年（2020 年）には、196,887 人となることが見込まれています。

図 - 1 西東京市の人口・世帯数の推移

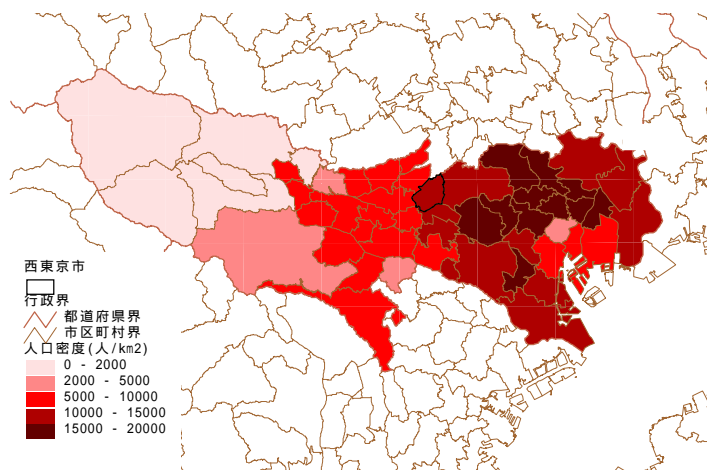


(昭和 20 年 (1945 年) は世帯数のデータなし)  
資料：国勢調査より作成

### <人口密度>

- ・西東京市の人口密度は、平成 13 年（2001 年）1 月 1 日現在で 11,492 人/km<sup>2</sup>で、特別区部全体の 13,211 人/km<sup>2</sup>に匹敵する密度を有しています。

図 - 2 人口密度

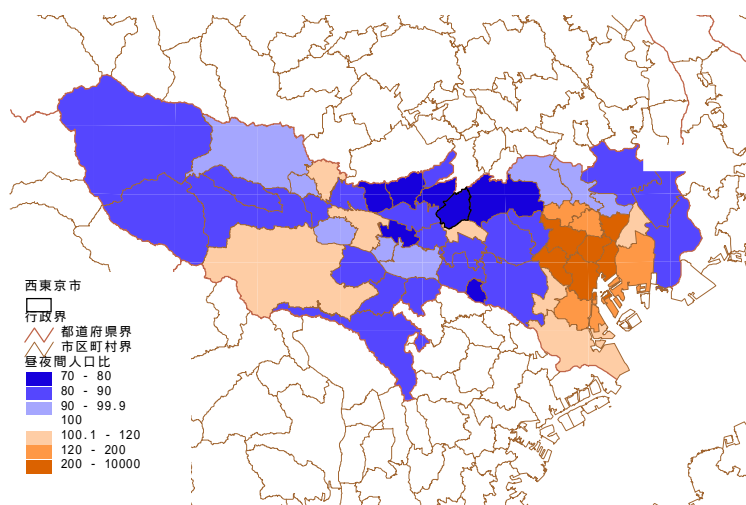


平成 13 年 1 月 1 日現在  
資料：東京都統計年鑑より作成

### <昼夜間人口>

- ・西東京市の昼間人口指数（夜間人口を 100.0 としたときの昼間人口の割合）は、平成 12 年（2000 年）で 78.0 と、市外に通勤、通学する人が多いベッドタウンとなっています。
- ・平成 12 年（2000 年）には、西東京市以外の市区町村へ通勤、通学している人のうち、特別区部への通勤通学者が占める割合は、65.1%となっています。

図 - 3 昼夜人口指数

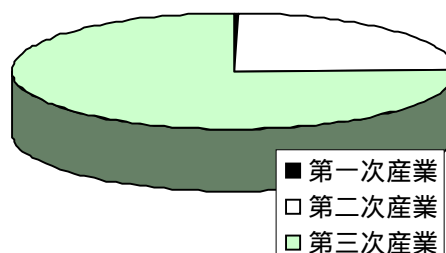


平成 12 年 10 月 1 日現在  
資料：国勢調査より作成

## ■産業

- ・西東京市の産業分類別の従業員数をみると、第一次産業は 0.2%に過ぎず、第三次産業が 75%と大半を占めています。

図 - 3 産業分類別 従業員数の割合



平成 11 年 7 月 1 日現在  
資料：事業所・企業統計調査より作成

## ■土地利用

- ・西東京市の面積 15.85km<sup>2</sup>は次のように構成されており、宅地が多く区部並みであるとともに、農用地が多いことが特徴としてあげられます。また、道路や公園などが区部よりも少なくなっており、都市基盤整備が十分に進んでいない状況を反映しているものといえます。

表 - 1 西東京市の土地利用

	西東京市	練馬区	武蔵野市	小金井市	小平市	東久留米市	多摩都市部	区部全体
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
宅地	<b>57.6%</b>	58.4%	65.9%	58.9%	54.2%	50.4%	31.5%	55.9%
屋外利用地等	5.8%	7.2%	4.8%	3.8%	5.3%	5.9%	5.0%	5.4%
公園等	4.6%	5.1%	6.2%	8.5%	8.2%	4.1%	5.1%	6.0%
未利用地	1.7%	2.9%	1.9%	1.5%	2.0%	2.5%	3.6%	4.0%
道路等	<b>14.4%</b>	17.4%	16.5%	14.7%	13.7%	14.9%	10.3%	21.0%
農用地	<b>14.3%</b>	8.1%	3.9%	9.6%	13.9%	17.6%	8.8%	1.7%
水面	0.3%	0.6%	0.5%	1.1%	0.5%	0.6%	1.6%	5.1%
森林	1.3%	0.3%	0.2%	1.5%	2.1%	3.4%	31.0%	0.1%
原野	0.1%	0.1%	0.0%	0.4%	0.2%	0.8%	3.2%	0.8%

平成 8 年または 9 年の土地利用の割合  
資料：東京の土地利用（東京都都市計画局）より作成

## 2. 環境の状況と課題

---

これからの西東京市の環境を考えていくのにあたって、西東京市の環境の特性や課題として、以下のような事項があげられます。

### ■地理的特性によって風の収束帯地域に位置している

東京湾を南に望む東京都北部地域は、海陸風の収束帯地域に当たり、気象条件によっては大気汚染物質が停滞しやすいという地域特性を持っています。さらに条件によっては、夏季に内陸性の顕著な高温度地域にもなります。昭和 45 年（1970 年）以来、練馬区や東京都の西部地域では夏季に高温度傾向と大気汚染によって光化学オキシダント（スモッグ）の発生が認められ、ここ数年西東京市を含む多摩北部地域での注意報の発令件数は、他の地域と比べて多い状況にあります。

### ■都心部の大気汚染の影響を受けている

自然地理的条件による大気特性ばかりでなく、西東京市は広域的にみて都心における自動車の排ガスなどの大気汚染物質の移流によって、大気汚染の進行が予想される地域でもあります。特に地域によっては広域幹線道路が集中しており、沿道の自動車排ガスによる環境への影響に対しては、市ばかりでなく、国、東京都及び周辺自治体と協働した対策が必要です。

### ■歩く人のためのまちづくりを進める必要がある

西東京市では、市民の日常生活における自動車への依存は比較的少ないものと考えられます。その一方で、幹線道路（新青梅街道など）が都市部への人的・物的輸送手段となっています。その他の道路は、主に生活のための道路としての機能を持ち、その役割は区分されている傾向があります。

そこで、「ちょっとそこまで」程度ならマイカーを使わないようにし、交通における環境負荷を減らしていくことが環境面から求められます。保谷駅前などでは狭い道路に人と自動車が混在して、危険な状況です。さらに生活のための道路に通過車両が進入したりしている現状から、歩車道分離などによって歩く人の安全を確保していくことも良好な環境の実現のためには必要です。

### ■いっそうの都市化によって自然生態系が単純化するおそれがある

緑地の減少や被覆舗装の増加、宅地化などによって自然が失われてきており、自然生態系\*のバランスの破壊、そして自然生態系そのものが単純化するおそれがあります。

### ■民有地のみどりが危機に瀕<sup>ひん</sup>している

市内の緑地は、農地や屋敷林などの民有地のみどりに依存するところが多いのが現状です。しかし現状では、相続税の支払いのための分筆・売却などによる農地や

---

自然生態系：ある地域に生息、生育する生産者（植物）、消費者（動物）、分解者（微生物）からなる生物群集とそれを取り巻く大気、水、土、光など無機的環境を合わせた一つの機能系（まとまり）。

屋敷林などの宅地化や、事業者保有の緑地が土地利用の転換などのために、減少していく可能性があります。こうした農地・民有地のみどりの保全が緊急の課題です。さらに、西東京市は周辺自治体に比較して公共によって担保される緑地が少ない状況にあります。

### ■ごみ減量の必要性に迫られている

近年、ごみ減量に向けた様々な取り組みが進められることによって家庭ごみの排出量は減少していますが、まだ高い水準にあります。また、事業系一般廃棄物\*の排出量は増えており、一般廃棄物\*全体についていっそうの減量努力が必要となっています。

西東京市はごみの処理・処分を近隣自治体と共同で行っており、処理場、処分場を他の市町に依存しています。このことは、処分場のひっ迫や処理・処分による環境負荷の発生などのごみ問題の深刻さを市民意識から遠ざけがちです。そのためごみに対する意識を強く喚起していく必要があります。

また、ごみの処理量を減らすのみならず、ごみリサイクルシステム全体における環境へ負荷を減らしていくためには、リサイクル（再資源化）の前にリユース（再使用）、ごみとなるものを購入しないなどを実践していくことが必要です。

### ■ヒートアイランド現象の影響が進むおそれがある

都心部の高排熱傾向や被覆舗装面の増加はヒートアイランド現象\*の原因となっています。さらに、都心部のヒートアイランド減少は今後もいっそう顕著になると予想されています。

ヒートアイランド現象が顕著になることは、西東京市においてもその影響を受けることを示唆しています。その結果、局地的な異常気象（局地的豪雨、炎暑など）がもたらされるおそれもあります。ヒートアイランド現象の影響についても、広域的な課題の一つとして東京都の対策と協調した対策や市独自の対策を検討していく必要があります。

### ■生活や事業活動による負荷を減らし持続可能な地域社会を目指す必要がある

私たちの生活および事業活動が環境負荷を生み出し、そうした負荷の積み重ねが地球環境問題（地球温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少など）を引き起こしていることから、私たちの生活や事業活動をエネルギー資源の消費が少ない、環境に配慮した持続可能な地域社会へと移行していく必要があります。

---

事業系一般廃棄物：商店、事務所、工場などから排出される廃棄物のうち、法で指定された19種類の産業廃棄物以外の廃棄物を事業系一般廃棄物という。近年、OA機器の普及にとともなうオフィス古紙の増加などによって事業系一般廃棄物が増加している。

一般廃棄物：産業廃棄物以外の廃棄物のこと。

ヒートアイランド現象：都市部の気温が、郊外に比べて異常に高くなる現象。気温分布の等温線が都心部を中心に島状に取り巻くため、そのように名付けられた。その原因は、アスファルトやコンクリートで地表が覆われ、そこに日射熱が蓄積されること、緑地の減少により、水分の蒸発による気温低下が少ないこと、また、自動車の排気ガスの増大や、エアコンの大量使用がさらに外気温を押し上げるといった悪循環によるものである。大都市だけでなく、中小都市にも見られるようになってきた。

以上のような西東京市の環境課題は、次のような広域的な環境問題と関連しています。

環境問題の広がり

西東京市での環境課題	東京都での環境問題	国規模の環境問題	地球規模の環境問題
<p>地理的特性によって風の収束帯地域に位置している</p>	<p>大気汚染</p> <p>騒音・振動・悪臭</p> <p>土壌汚染 ・地下水汚染 ・地盤沈下・水質汚濁</p>	<p>環境汚染の拡大</p>	<p>酸性雨</p> <p>水資源の汚染 土壌汚染</p> <p>海洋汚染</p> <p>有害化学物質問題</p>
<p>都心部の大気汚染の影響を受けている</p>	<p>自動車交通公害</p>	<p>自然生態系の破壊</p> <p>農地や二次林の荒廃 移入種による生態系への影響</p>	<p>オゾン層の破壊</p> <p>熱帯林の減少 原生自然の消失 自然生態系の破壊 野生生物の種の減少</p>
<p>歩く人のためのまちづくりを進める必要がある</p>	<p>生態系の単純化 野生動植物の減少</p>	<p>ごみの増大</p>	<p>ごみ排出量の増加 ごみの越境・海洋投棄</p>
<p>いっそうの都市化によって自然生態系が単純化するおそれがある</p>	<p>みどりの減少</p>	<p>廃棄物の不法投棄</p>	<p>塩害</p> <p>水資源の枯渇</p>
<p>民有地のみどりが危機に瀕している</p>	<p>最終処分場の逼迫 ごみの越境</p>	<p>資源の大量生産 ・大量消費・大量廃棄</p>	<p>沙漠化</p>
<p>ごみ減量の必要性に迫られている</p>	<p>ヒートアイランド</p>	<p>食糧自給率の低下 人口の減少 過疎化・一極集中 少子化・高齢化</p>	<p>地球温暖化</p>
<p>ヒートアイランド現象の影響が進むおそれがある</p>	<p>水循環の再生</p>		<p>天然資源の枯渇</p>
<p>生活や事業活動による負荷を減らし持続可能な地域社会を目指す必要がある</p>	<p>エネルギー消費量増</p>		<p>人口・食糧問題</p>